

REF 28

RUBBISH Selecting Squad's EROTICA 28
Comic Market 95
Fate/Grand Order FANBOOK

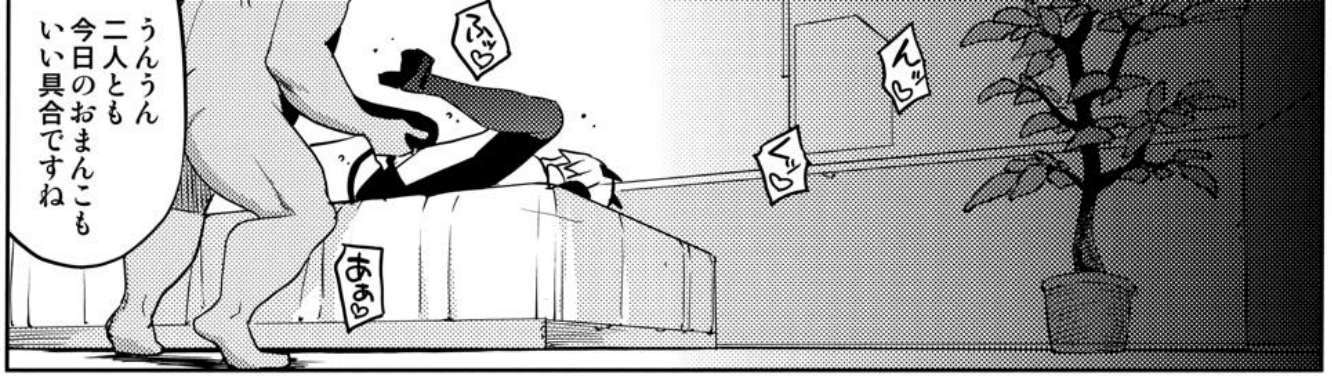


18
For ADULT ONLY

RE28



下乳上 & モーさん凌辱調教本です。
基本的にロリコンなので、巨乳の描写はまだまだかもしれませんが
少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

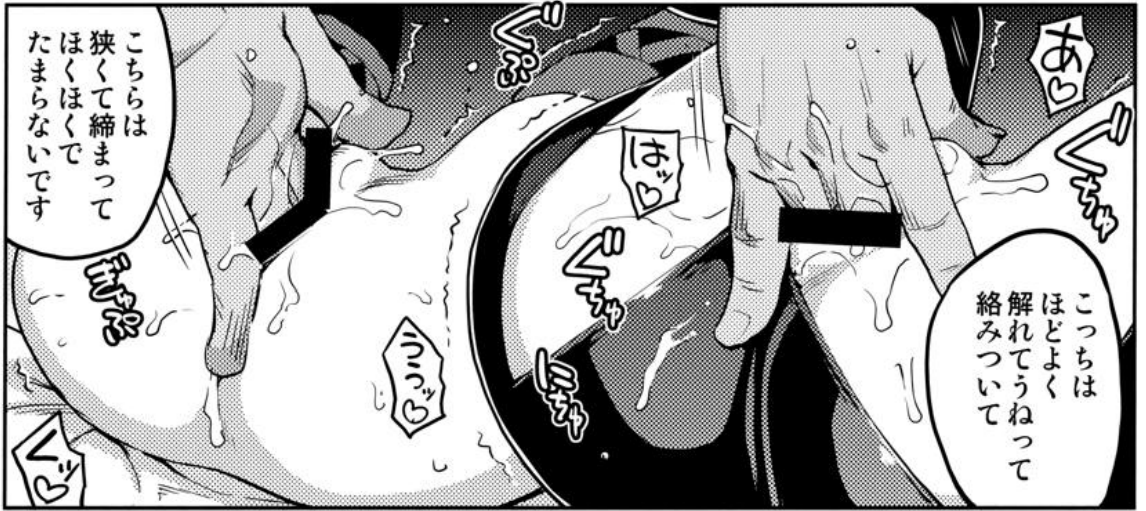


うんうん
二人とも
今日のおまんこも
いい具合ですね



うーん
悩むなあ

今日は
どっちに
注ごうか



こちらは
狭くて締まって
ほくほくで
たまらないです

こっちは
ほどよく
解れてうねって
絡みついて



二人は
どうして
欲しいですか？

好きにすれば
良いだろう
この…変態めッ

どちらにも
ぶちまけねば
満足できない癖に

まったく
だ…ぜ

結局気絶する
まで好き放題
しゃがるんだからよ…



騎士たるものが
無暗に欲しがる
ものでは…ッ

貴様…

今やマスターの
情婦同然だ



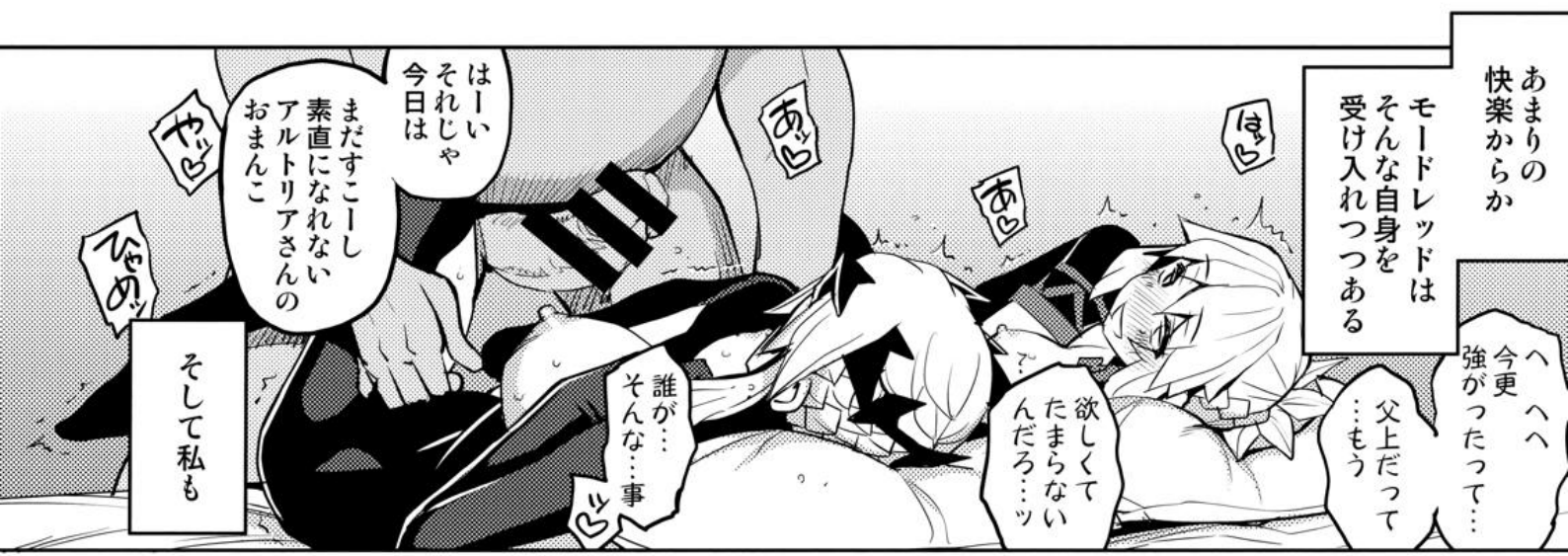
私も彼女も
人理を
守るべく矛
英霊として
召喚された
はずが

使っても…
いいいいけど
…さ…

くば…あ…

まあ…
どうしてもって
言うなら…

お、俺の…
おま…こ



あまりの
快樂からか

モードレッドは
そんな自身を
受け入れつつある

へへへ
今更
強がったって…

父上だって
…もう

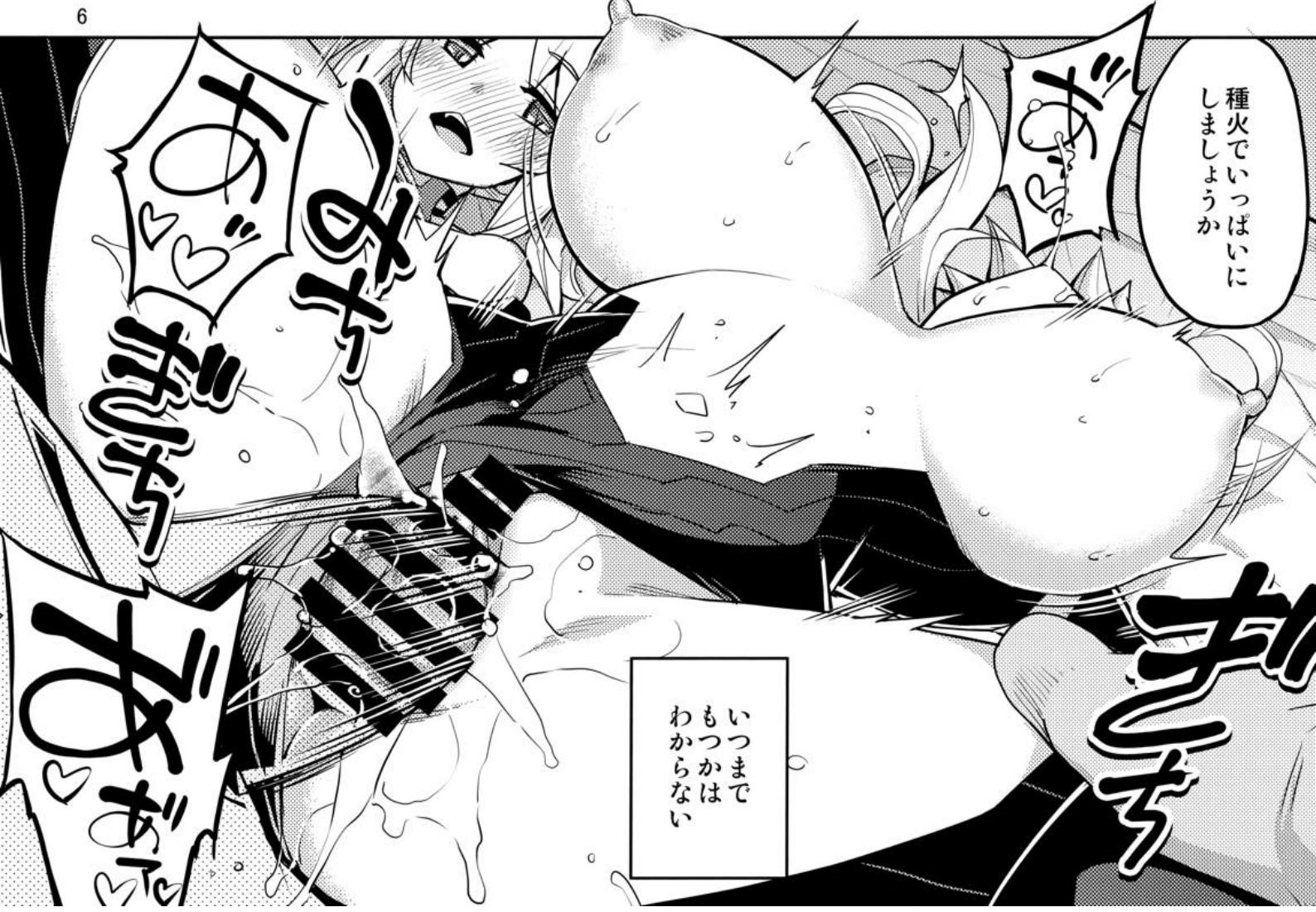
欲しくて
たまらない
んだろ…ッ

誰が…
そんな…事

はい
それじゃ
今日は

まだすこし
素直になれない
アルトリアさんの
おまんこ

そして私も



種火でいっぱい
しましようか

いつまで
もつかは
わからない

おまんこ

おまんこ

おまんこ

どうして
こんな事に
なってしまったのか

モーさんは
バイブで
お預けね

抗う手段が
あったのでは
ないか

張り子でイクの…
あんま好きじゃ…
ねえ…から…

んだよ…
はやく
しろよ…な

何度となく
繰り返し返した
自問に
答えは出ない

もしかしたら

この男の元に
召喚された時点で
答えは

運命は
決まっていた
のかもしれない

召喚当日

ランサー アルトリア
召喚に応じ参上した

我が愛馬が
雷雲を飲むように

我が槍は
あらゆる城壁を
打ち破る

あなたの道行きを
阻むもの
すべてを打ち砕こう

この時の事は
良く覚えていない

はじめまして
乳上ッ!

早速種火いっぱい
注いであげますねッ!

あッ

しっおのぬ

今呪のしぼりがッ

なにッ?

きこまらッ?

あおん?

あおん!!

フッ
フッ

フッ

恐らく
あまりの事態に
身体と頭が
ついていかなかった
のだろう

再臨おめでとうございます
マスクもとれて
スツキリしましたね

後から
当時の様子を
マスターから
聴かされる度に

羞恥のあまり
世界を焼き尽くしたい
衝動に駆られたものだ

あ♡
ハハハハ

あ♡

ハハ

ハハ

はあ♡

はあ♡

あ♡

あ♡

ハハ

ハハ

おはっ♡

いきなりの再臨で
身体が
ビククリしたのか

おもらししちゃって
ますけど

大丈夫
僕は気にしません
むしろ褒美です

あ♡

ハハ

おはっ♡



いやいや
次代の王を
産み育てるのも

大切な
仕事ですよ？

こんな事を
している暇は…

王にはない…ッ

むっ

もし



それから
毎日
育成という名の
凌辱は続いた

はッ

それにしても
意外です

まさか槍の
アルトリアさんも
男性経験
なかったとは

ああたり…
前だ…ッ

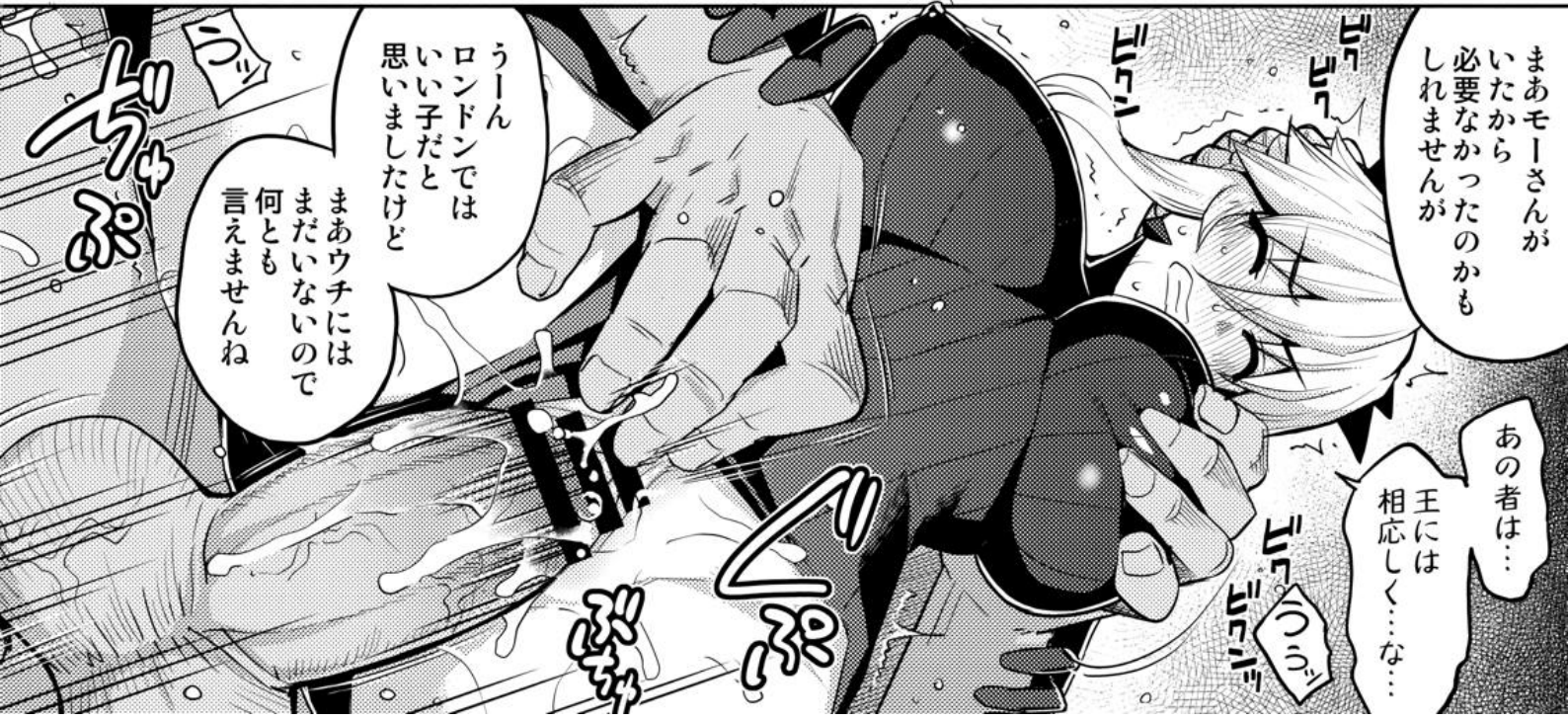


こんなに
スケベで

出産向きな
身体されてるのに
職務怠慢では？

むっ

あッ



まあモーさんが
いたから
必要なかったのかも
しれませんが

あの者は…

王には
相応しく…な…

うーん
ロンドンでは
いい子だと
思いましたけど

まあウチには
まだいなので
何とも
言えませんね

ちゅ

びゅ

びゅ

びゅ

びゅ

びゅ

びゅ



僕たちで
相応しい子を
つくって
みませんか？

あんまり多いと
王位継承で
揉めそうですから

マスターが
好色漢なのは
早々に
理解していたが

とりあえず
3人ほど



じゃあ
折角ですし



その精力は
底知れず

ふざけ……るなッ

サーヴァントに
子を為せるわけが

行為は平気で
数時間……

時には丸一日
続く事もあった

また 育成は主に
マスターの自室で
行われて
いたもの

場所を問わず
行われる事も
あり

全てはマスターの
気分次第だった



ふざけるな

こんな…
ところでッ

貴様は…ッ

稼いだきた種火
アルトリアさんに
注ぎたくて

いやあ部屋まで
我慢するつもり
だったんですが

こんな格好
させておいて…

よくも
抜け抜けと…

凄いな…
彼女、騎士王の
オルタなんだろ？



この前召喚した
ばかりなのに
すっかりメスの顔に…

しかも処女
だったんだぜ？
それがこんな…

チンコ
突っ込まれて

本気汁
垂れ流して

観られて
するのが
よっぽど好き
なんだな…

貴様ら…ッ
この私に向かって
そんな口をッ





ダメですよ
アルトリアさん
そんな言葉使いは



だから
そういうのは
ダメですって

この時
私はかすかに

でも確かな
何かを感じた



くそ…ッ

絶対に…
ころ…す

ころ…
してやる…



皆さんも
あまり刺激
しないで
くださいね

まだ育成中で
絆レベルも
低いんですから

あすまない
邪魔したね

しつげが
済んだら
楽しませて
くれよな

マスター達への
怒りですぐに
かき消えたものの

それが
何なのか

思い知らされる
のは次の日の
事だった



ひやめろ
もうヒッてるッ

もうずつと...

ずっと
イキっぱなし...ッ
だか...ら

それを
止め...ろッ!!

おオッ...ああッ!?

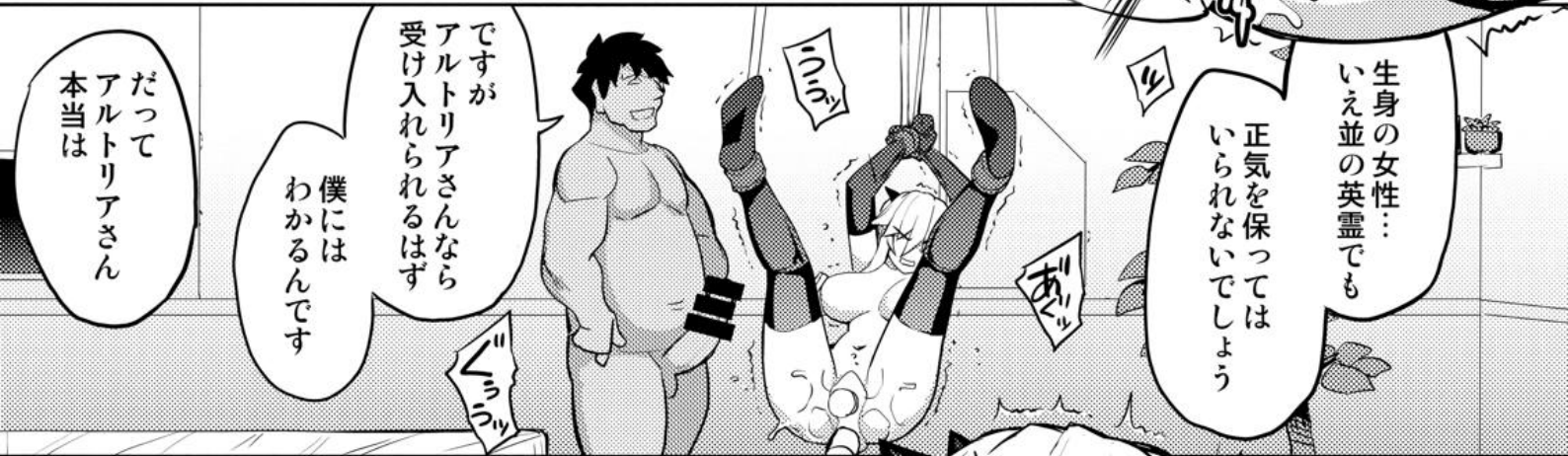
ああッ

いいいえ
これからですよ

まだ始めて
ほんの2時間

音を上げるには
早すぎます





そんな筈はないと
否定する程に



身体はその
思いを否定する



苦痛とも
呼べるほどの
刺激に

私の胎内は
昂ぶり溢れ

何度となく
絶頂を迎えた



霊基が破壊
されそうな程の
絶頂を繰り返し

意識を
無くしても

魔術礼装による
強制覚醒





そして
再びの絶頂

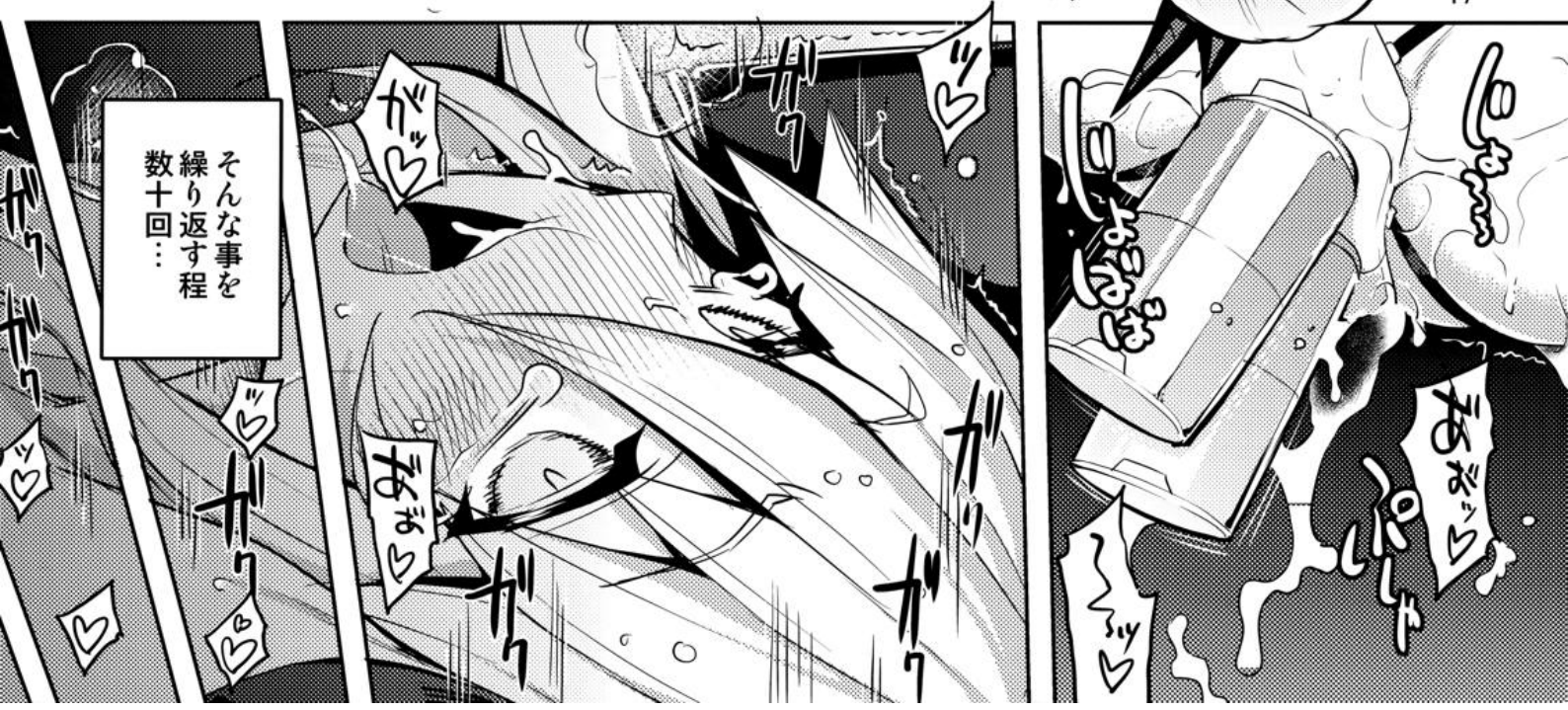


再び覚醒からの
絶頂

意識を失い

あらゆる体液を
まき散らしながら
絶頂し

汗も涙も
愛液も



そんな事を
繰り返す程
数十回...

一晩中
イキ続けても
尽きる事のない
愛液に

増していく
その感度

とれだけ
抗おうと
この身体は

刺激を
与えられる程に
愛液を溢れさせ

無様により狂う
性質なのだ

いやはや
驚きです

アルトリアさんの
身体は僕の
期待以上ですよ

さあ
最後は僕の
おちんちんで
イキ狂ってくださいね

思い知らされた

もん

あゝ...ん

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ



だがそれでも
私は否定する

んんん
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ



今日は
お疲れ様でした

朦朧とした頭で
マスターの性器を
しゃぶらされ

拘束責めの
余韻に全身を
震わせ

これからは
行為の後
必ずお掃除フェラを
すること

もちろん
その豊満な胸も
使ってますよ

いいですね？

次なる快感に
身体が芯が
熱くなるように



この男を
マスターとして
認めるワケには
いかない

そう強く誓った

はずなのだが

んんん
ちゅちゅ
ちゅちゅ

んんん
ちゅちゅ
ちゅちゅ

その数日後

マスターが
彼女の召喚に
成功した

セイバー
モードレッド
推参だッ



父上は…いる

…か？



お久しぶりです
モーさん
ロンドン以来ですね

父上共々
これから
よろしく
お願いしますね

ひゃ、ひやめろ
マスター

ズンズン

こんな無様を
見せつけるなど…

あ♡♡



怒りと

それ以上の羞恥と快樂で一杯になってしまった

おおお

おおお

おおお

おおお

おかげでこのあと意識をなくし

以降の事は覚えていない

後から聞いたところによれば

……な……

おおお

おおお

おおお

おおお

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん







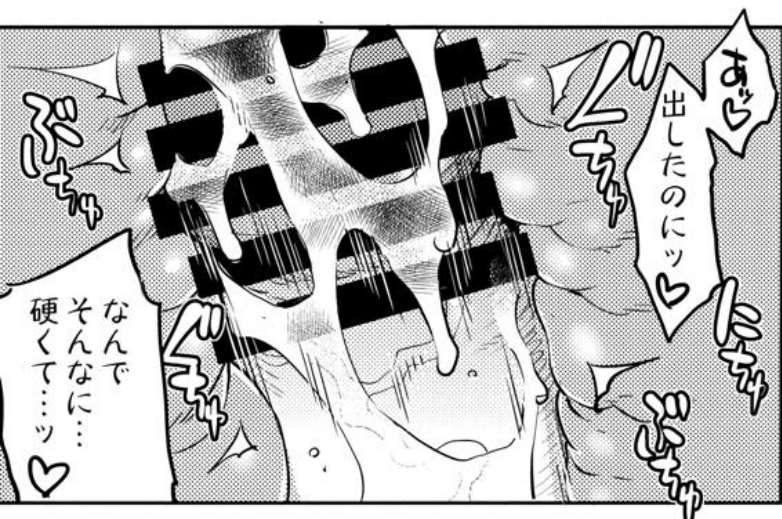
ふふふ
まだそんな口が
聴けるなんて
さすがですね

こんらのつて
こんにゃ...



第三再臨まで
一気に進めて
しまいました

おまんこの
具合も
素敵です





私を庇うつもり
だったのかも
しれないが

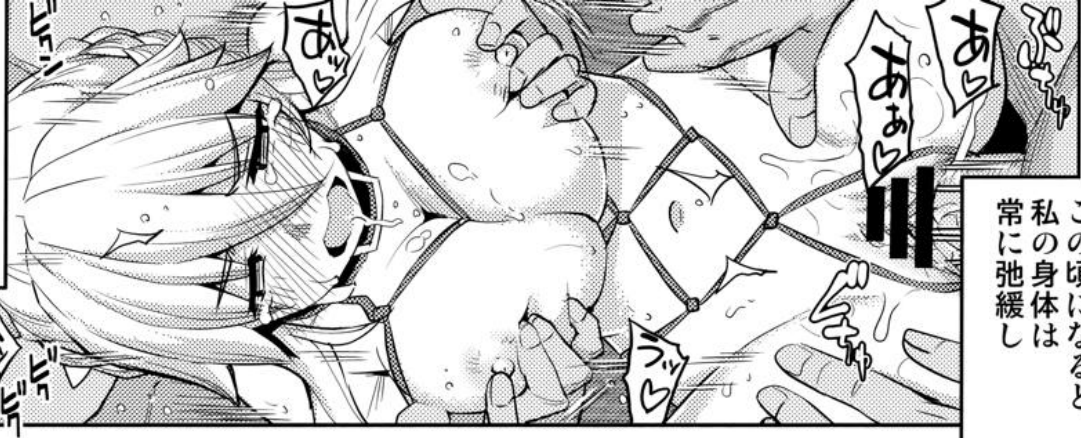
彼女もまた
マスターの
「育成」には
抗えなかった

そうして
私たちは共に
「育成」を
受ける日々を
過ごす事となる



毎日の「育成」の影響か

この頃になると私の身体は常に弛緩し



令呪なしでも反抗する事がままならなくなっていた

そのせいかわ職員たちも加わり「育成」はより過激になっていく

モードレッドはまだ力を残していたように思えたが

私と自身の有様に混乱していたのかすっかり大人しくなっていた

叛逆の騎士ともあろう者が情けない！

と言いたがところだが



ほらモーさん

父上凄く気持ちよさそうでしょう？

君もすぐこうやってメス顔晒せるようになりませうからね

先に手をかけられていたとは言え

あらはは……

情婦以上に喘ぎ悶える私の方が

よほど無様な姿として彼女の目に映った事だろう

それが悔しく情けなく



そして
身体の芯が
蕩ける程に
興奮した



何より娘である
モードレッドに
見られて興奮する
性質でもあったのだ



恥知らずな事に
私は他人に

あぁ♡♡♡
ひやめろ
モードレッド卿…

私を…
見る…にゃ…♡



そんな目で♡

おねが…♡
父上…
見る…な♡
やと…



そして
血は争えないとは
良く言ったもので
彼女もまた:

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ
やめろッ

やだッ
イキたくない

ウイン

チッ

チッ

チッ

チッ



父上の前で
なんか

私たちは
痴態を晒し

そして
互いの様を
目にする事で
より昂ぶり

喘ぎ
身悶え

絶頂を重ね
愛液を
まぎちらし

イキたく
ないヤッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

自身の
メスとしての本質を
思い知らされていった

また
イグ
コ
コ

ズ
ズ
ズ

コ
コ
コ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

ハ
ハ
ハ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

そして



…なのにッ



こ こん
な の か よ …ッ

すげえよッ
おちんちん

こ、腰が…
抜けちまい
そうだ…



おちんちんの
感じ方ッてッ



腰とまらねえッ!!

ずっと腰
振っていたいッ!!



さすがに娘のおちんちんでアへ顔晒すのは抵抗がありますか

ならモーさん

僕も手伝いますから

ま、ま、ま

ガンガンおちんちんねじ込んであげてください

二人で父上：

いえママが素直になれるよう頑張りましょう

ハッハッハッ

キキキキ

キキ

キキ

アッアッ



ヒキ...

や、やめろ
モードレッド卿ッ

私をそんな風に
呼ぶなど...

そう...か

そうだ

ママだ...

ひゃ

ひやめ...

ママ...ママ...

ママ...ママ...



ママあああッ!!

アッ

ん
だ
ん
ん
ん

アッ



ひ ひがう…
わらひは…ッ

貴公の
母などでは…

いえいえ
お腹を痛めて
いないとはいえ
ママには
違いありません

モーさんが
肉親の愛に
飢えていた事は
あなたも
ご存じでしょう



そして与えて
あげてください
母の愛を



二人とも
生前は色々
難しい立場
でしたが

今なら
受け止めて
あげられるはず

あなたの娘の愛を

もみ
もみ



愛…などと
呼べるはず

…ない…



ただ肉欲を貪り
ぶつけ合うのが…



愛…だと…
こんなものが…

なのに…
どうして…



「キュン…」



今は
彼女が…

あ…ああ
ママ…

い…いのかつ

ああ…
モード…レッド

ママ…あッ♡

娘が…



出るッ
出ちまうよッ♡

ママの
おまんこにッ♡

俺のザーメン
…全部…♡

子宮に
…全部…♡





お前の
全てを…



んふっ♡



愛おし…ら

…来なさい
モードレッド♡

来い…
欲しい♡

私の
胎内…♡



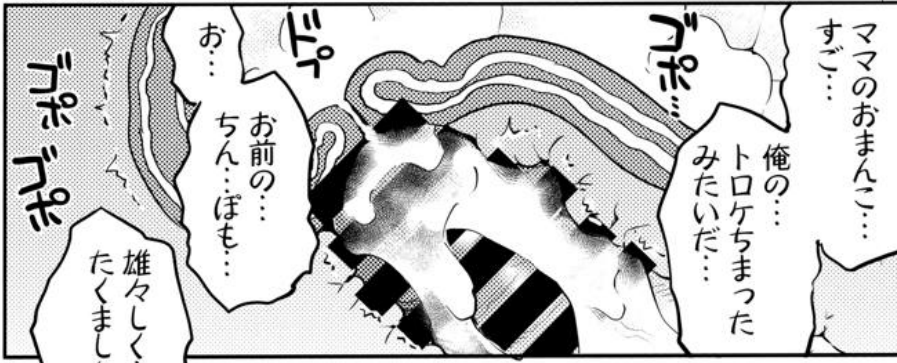
ハートレツ♡











ふう：
今日は久しぶりに
本気でイケました

お二人には
感謝です

ご褒美に
今度聖杯を
捧げますから

この日

私から
抵抗する
意思は

これから
もつともつと

親子仲良く
愛してあげますね

完全に失われた

後悔や疑念が
晴れたわけではない

怒りと憎しみも
まだ燃っている

だがそれでも

もはや
認める他はない

私の身体を
支配しただけに
飽き足らず

娘と共にいられる
喜びを与えてくれた
この男は



私の

私たちの
マスターなのだ

おちんちん♡

マスター♡

♡お

♡お♡



その後

ヒキヒキ

な…なんだよ
この服…

似合うワケ
ねえたらっ
こんなの
オレ…に

いえいえ
似合ってますよ
モーさん

女の子らしくて
可愛いです

ツけんなッ♡

あ♡

ユウハ
ユウハ
ユウハ

裸の方が
まだマシ…♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

くそッ♡
くそッ♡

ヒラヒラで…
フリフリで…♡

ギシ

ギシ

こんな恰好で
してたら…♡
オレ♡

ギシ

…ただの小娘
みたいじゃねえか♡

あ♡

その通り



マスターと私の寵愛を受け一人の女であろう？

今のお前は只の小娘

ッ!?



はひっはひいッ♡

オオレは女の子オッ♡

ママとマスターにッ♡

ケツ穴とおまんこぐちゃぐちゃにされてアクメキメちゃう♡

どすけべおんなのこれひゆううッ♡

ふふふさっきの恥じらいがウソみたい

二穴責めするとモーさんは素直になりますね

うんッケツまんこもおまんこもだい好きらもんッ♡

ママとマスターのおちんぼがッ♡

おれの胎内でごりごりするのの♡だい好きらのおッ♡



いいんですよ
僕はそんな
アルトリアさんでも
愛していきますから

おまんこが
…かたぢ
かわりゆ…

か、かわつちやう♡

おヴまさん
専用のがばがば
おまんこに♡

なつぢや

おまんこ♡

僕のも大き〜
してもらいます

いざとなったら
ダウインちゃんに
頼んで

おまんこ♡

おまんこ♡

おまんこ♡

只の人間では
味わえない
極太おちんぼ

存分に
楽しんで
ください



二人とも
すつかり種火
まみれですね

聖杯を捧げた
甲斐がありました

おもしろい
おもしろい

おもしろい
種火がたまたま

ずいずい
おもしろい

オレもママも
ママもたまたま

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい

ふふ
嬉しそうで
何よりです

でもひとまず
今回は最後の種火

二人とも
聖杯レヘルマアクメ
存分に
味わってください

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい

おもしろい
おもしろい



さてレベルマの次に
目指すは
絆マックス

これからも
たっくさん
愛を注いで
あげますからね

ミルク
ミルク
ミルク

お
お
お

お
お
お

お
お
お

お
お
お

お
お
お

お
お
お



あつぎ

ども、はじめましてだったりいつもありがとうございますだったり。
 無望菜志です。
 今回は久々に凌辱気味な内容ですが如何でしたでしょうか。
 無駄に長くなってしまった気もしますが、少しでも使いどころがあればナニよりです。

2019年は今回の本のように凌辱や調教、触手など、抜き要素強めの本を
 頑張っていこうかと思っています。
 まあ予定は未定、思うだけなら誰でも出来るもんですが。

ところで今回、馬が出てきましたがアレはラムレイというわけではありません。
 ええ、ええ、もちろんFGOにおけるラムレイがメスなんて事は当然わかってますとも、
 うっかりオスのつもりで書いて、完成間際に慌ててセリフだけ変えたなんて事は
 ありません。
 ないんです(真顔)

まあそんなこんなで。
 次はオリジナル円光モノか、えっちゃん本を予定してますので、
 もしよかったら改めてよろしくお願いします。

それではまた。

2018年12月
 FGOACにロリンチちゃん実装発表された某日
 無望菜志



RE28 ■ 奥付

□発行
 RUBBISH選別隊
 □発行日
 2018年12月31日
 □印刷
 (株)PICO
 □連絡先
 rss@rubbish-ss.net
 □HP
<http://rubbish-ss.net/>

無断転載・複写・転用
 オークションや
 フリマアプリへの出品
 ウェブ上への
 アップロードは禁止です。

RE28
R-18 FOR
ADULT
ONLY

ROBBISH 選別隊